

校長室だより

12月号

杉並区立向陽中学校

平成28年11月30日発行

校長 菅野 武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】

「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

◇ 意識しないとできない『体験活動・ボランティア活動』を考える

向陽中学校では、生徒に体験活動やボランティア活動に参加するよう呼びかけています。なぜでしょうか。生徒の将来を考えてのことです。つまり、大人になってから困らないようにさせたいからです。子どもの頃に身に付けておくべきスキル(技能)や態度があります。一昔前には、それらは大所帯の家庭生活や遊びの中である程度は身に付いたものです。ところが、近年なかなかそうはいかない社会情勢があります。ある教育研究所の調査結果では、放課後の過ごし方は、勉強時間が増えたのはよいものの、屋内外での遊びや家族・友人と過ごす時間は減少傾向にあります。よって、今の子どもは社会を生き抜くスキル(技能)が不足しているとの指摘があります。家庭でも意識して我が子に自然体験や生活体験をさせることが求められています。独立行政法人国立青少年教育振興機構の調査でも、自然の中で遊びを豊富に行うほど、コミュニケーションスキルや礼儀・マナー、課題解決スキルが備わることが明らかになっています。ならばお節介をやこうと考えたわけです。

今年度より「杉並区立中学校連合文化祭」の“英語学芸発表会”と“書評座談会”に生徒が参加しました。一つは“がんばれ！自分！”を合言葉に『自育力を育てる習慣づくり14か条』の⑫活動の幅を広げ、挑戦する習慣づくりと、⑬人や書物、作品などから学ぶ習慣づくりの一助とするために。もう一つは“何事も経験、発表会や座談会を体験する、自ら考えてみる”ために。参加人数に限りはありますが、与えられた機会を逃す手はありません。今後もこのような機会を生徒に呼びかけたいと思います。

私は感動体験も欠かせないと思っています。向陽中には秋の一大行事の向陽祭があり、プログラムの中に都立中央ろう学校の生徒による手話コーラスがあります。昨年、そして今年もそうでした。涙がほおを伝いました。「虹色」のメロディーと歌詞にのって、中央ろうの生徒の表情と動く手が心に訴えかけます。勿論、本校生徒も手話にくぎ付けでした。終了とともに会場は割れんばかりの大拍手が沸き起りました。これはとりもなおさず、感動の成せる業です。本校の生徒会メンバーが手話でお礼を述べ



英語学芸発表会でスピーチに挑戦



書評座談会で意見を発表する向陽中生(12名参加)



11/3 町ぐるみ運動会で各係に分かれてボランティア活動に励む向陽中生(49名参加)

ました。中央ろう学校の生徒たちががすかに口元に笑みをたたえ、うれしそうでした。本校と中央ろう学校との大切な交流の機会です。私はこうした感動体験こそが人の心を耕し、心を育てると信じています。なぜ涙がほおを伝うのでしょうか。それは中央ろう学校の生徒の懸命に生きようとする思いが私たちの心を打ったからです。

この秋も、町ぐるみ運動会や震災救援所訓練(58名参加)等のボランティア活動に多くの生徒が参加してくれました。そして、幼児や小学生、大人とのかかわりや交流を通して、一人一人が自分なりの学びをしてくれたと思います。

◇ 『人間賛歌が響き渡る向陽中学校』を創ります =その4=

〈第2学期は“たくましい向陽を創ろう!”を掲げて…〉～「我慢強くなる」～

1学期の「明るい向陽を創ろう!」を受け、今学期は「たくましい向陽を創ろう!」と呼びかけています。1年生は“夏休み”の部活動で鍛えられ、もはや1学期の容相とは違って見えました。その勢いそのままに2学期を迎え、2年生からも頼りにされたり、生徒会役員に立候補したり、委員会活動にも積極的に取り組んだり、徐々にたくましさの片鱗を見せ始めます。定期考査前の「KOYO スタディ」には多くは1年生が参加しています。つい先日の2学期末考査前の勉強会では、1年生の取り組み姿勢を見て、少しずつだが成長しているなど実感しました。お手伝いの保護者の皆さんも同感の意を表していました。個人差はあるものの、確実にたくましさを身に付けています。



11/12・13「KOYO スタディ」の様子

2年生も“夏休み”の部活動で一段と成長した姿を見せました。そして2学期に入ると、3年生から生徒会役員会や各委員会活動の主導権を譲り受け、活動の前面に出て活躍しています。生徒会役員選挙の立会演説会で示したやる気、生徒会朝礼での各委員会委員長さんの堂々として自信に満ちた発表、そして部活動で1年生を引っ張りながら、大会や発表会で一段と成長した姿を見せるなど、思わず「たくましくなったな!」と口をついて出てきました。この秋のボランティア活動には多くの2年生が参加してくれました(延べ人数70名)。これも2年生一人一人が人のために行動してみようとする心の表れです。



11/4「後期生徒総会」での会長あいさつ

3年生はこれまでに身に付けたたくましさを土台に、

“受験生”としてのたくましさを身に付けています。やはり“夏休み”が一つのカギでした。2学期始業式で見せる3年生の面持ちは1・2年生のそれとは性質が違います。長時間の勉強漬けに“受験生”としての自覚が表情に見て取れます。一段と落ち着きのある、大人に近づきつつある顔つきになります。今年は2学期に修学旅行があり、3年生はつかの間とはいえ“受験生”を忘れ楽しむことができました。ただ単に楽しむのではなく、3年生集団としてのまとまりであったり、たくましさであったりを実感させてくれる3日間でした。そして2学期こそが“受験生”



朝早くから集まり、スローガンづくりに励む向陽祭実行委員

に求められるたくましさを身に付けるまさにその時です。このことは3年生との面談でも伝えました。心して自分自身を鍛えていることだと思います。3学期の来たるべき“受験”にしっかりと向き合える一人一人になりますように。“受験は個人戦でもあり、団体戦でもある”。

この2学期にはどの学年も“たくましさ”を身に付ける取組みがあります。「向陽祭」です。各学級が1学期の運動会で培った団結力や絆を土台に、今度は“我がクラスの心の歌声”づくりを目指し奮闘が始まりました。その後の経過は、向陽祭当日の合唱発表前の学級紹介が物語っていました。それこそ“我慢強く、ねばり強く、自信を付けながら、前向きに、気持ちを合わせて”だったと思います。困難を乗り越えクラスメイトとともにたどり着いた“真価という名の頂点”は何ものにも代えがたいものでした。このたくましさは『自育力』にもつながっています。

〈“いじめのない向陽中学校”をつくる その4〉

実態が明らかになるにつれ、「どうして?」とか「それはないな!」、そして「他山の石とする!」と思いました。横浜市で起きた中学1年男子生徒(小学2年の時、原発事故で福島から自主避難していた)に対するいじめのことです。報道によると、横浜市の第三者委員会は“教育の放棄に等しい”などと学校や教育委員会の対応を厳しく批判していました。第三者委員会による調査は「いじめ防止対策推進法」(平成25年9月施行)によるもので、重大事態のいじめがあった場合に第三者委員会による調査を教育委員会や学校に義務付けています。今回の報道を他人事で済ませることなく、本校が掲げる“いじめのない学校をつくる”に真摯に向き合っていくことを肝に銘じます。「人間賛歌の教育」を掲げる向陽中学校です。向陽中生が“人として生きることは素晴らしいことなんだ!”を実感できるよう、不断の努力をしてみたいです。

10月25日(火)に今年度第2回「学校生活アンケート」(年3回実施予定)を行いました。今回は“7月から10月までのいじめ”の把握です。集計の結果、自分が「いじめられた」「いじめをした」と書いた生徒は4名で、「いじめを見た」という生徒も4名いました。担任を中心に確認したところ、1学期のことであったり、勘違いだったりということが数件ありました。また、書かれた内容の中には教員が把握しているものもあり、経過観察中です。深刻ないじめとまでは判断できませんでしたが、双方から話を聞き今後について注意をしたものも数件ありました。

◇ 「親子でネット・スマホ断食週間」はいかがでしたか ～「向陽中ルール」～

保護者の皆さん、禁断症状は出ませんでしたか。私はそれほどの“ネット通”でもなく、よくスマホを置き忘れる方なのですが、なぜか手元にないと、不思議なもので不安になってしまいます。ほとんど連絡などないのに、もしかすると誰かから連絡があるんじゃないかと。本校初の取

組みの11月14日(月)～20日(日)の一週間「ネット・スマホ断食週間」はいかがでしたか。我が子のテスト勉強のためならと、やせ我慢を装っていた？という保護者の皆さんもいたかもしれませんね。お疲れさまでした。

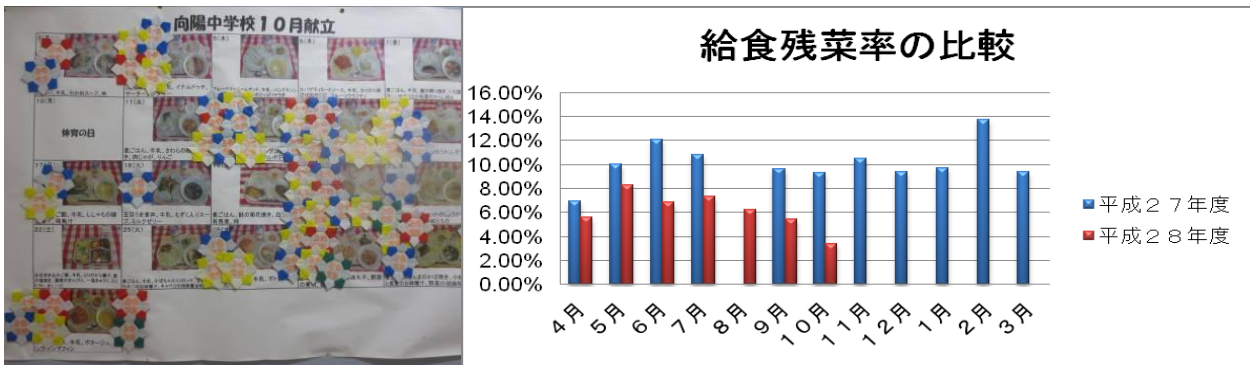
先日、警視庁より「児童ポルノ事犯の『自画撮り被害』が増加しています。中学生、高校生等が『自画撮り被害』に遭わないように広報・啓発をお願いします」とのお知らせがありました。詳しくは12月のPTA運営委員会や保護者会にてお話しますが、「ネット・スマホの向陽中ルール」にあるように、“SNSに個人情報を乗せない”を徹底したいと思います。ご家庭でもよろしくをお願いします。

「ネット・スマホの向陽中ルール」

- 1 SNSに自分や他人の個人情報には載せない。
- 2 悪口を書き込まない。
- 3 家庭でのルールを決め、そのルールを友達にも理解してもらう。
- 4 使用方法や料金については保護者の同意を得る。

◇ **給食の残菜率が減少しています！ ～学校給食運営協議会開催 28.11.24～**

毎年、学校給食調理業務委託校では「学校給食運営協議会」を開催しています。本校は「株式会社藤江」に業務委託をしています。この協議会では、管理栄養士の平野寛美より本校の給食について資料を基に説明がありました。その中で昨年度と今年度の残菜率(下図参照)が示されました。確実に減少しています。うれしいことですね。



↑ 左：1階事務室前廊下に掲示の10月献立表 完食すると学級毎に貼られる花がいっぱい！

◇ **学校評価アンケートにご協力をお願いします ～生徒・保護者・地域対象～**

早いもので明日から師走12月です。新年度がスタートした4月からおよそ8か月間、「建設的な和～みんなの向陽中学校～」をキーワードに学校経営に当たってまいりました。今年度は特に「自らの行動を律し、“なりたい自分”に近づける力を身に付ける。そのために、“がんばれ！自分！”を合い言葉に『自育力』を育てる」ことに取り組んでいます。そして「自育力を育てる習慣づくり14か条」を示し、学校での様々な活動を通して身に付けるよう指導しています。また、学期末には生徒による自己評価を行い、生徒の意識を高めるとともに保護者の皆さんと共有しています。今年度もあと4か月となりましたが、今後もよろしくをお願いします。

さて、本校では今年度の「学校評価」を行います。学校が“自己評価”を行う際の資料とするために、生徒・保護者・地域の皆様に学校評価アンケートをお願いしました。内容は昨年度とほぼ同じです。11月28日(月)に生徒を通じて「保護者アンケート」を配付しました。12月9日(金)までにご提出ください。年度途中での評価となりますが、よろしくをお願いします。